

2014年8月吉日

医療機関各位

独立行政法人地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター
産婦人科 吉田 雅代

ALSOコース開催のご案内

謹啓 残暑の候、貴院ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、NPO法人周生期医療支援機構のもと、ALSO (Advanced Life Support of Obstetrics)コースを開催いたします。ALSO コースは、医師やその他の医療従事者が、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。詳細は別紙にNPO法人周生期医療支援機構の説明を抜粋しておりますのでご高覧ください。

できるだけ多くの産科関係者様にコースを受講いただき、産科医療を振り返ってディスカッションする機会となれば幸いです。

受講をご希望の方は、下記をご高覧いただき、申込みをお願いいたします。尚、申込み多数の場合は、申込み順、地域性、職種などを考慮して決定させていただきますので、ご了承ください。

謹白

記

【日 時】 1日目 2014年12月13日(土) 8:30~19:00
2日目 2014年12月14日(日) 8:30~17:00
※2日間全セッションへの出席が必要です ※2日目に実技・筆記テストあり

【場 所】 星ヶ丘医療センター (詳細は後日ご案内いたします)

【受講料】 35,000円

【対象者】 産科医療従事者、産科医療に興味のある医療従事者・医療系学生の皆様

【申込期間】 2014年8月25日(月)～ 9月4日(木) 23時まで

【申込方法】 まずは、電子メールにて当院担当者宛に下記アドレスまでご連絡ください。正式な申込み方法については、メールにて改めてご案内いたしますので手続きをお願いします。

星ヶ丘医療センター 総務企画課 伊藤 博一 宛 syomuka@hoshigaoka-hp.com

※受講者ご本人のPC電子メールが必須です。(スマートフォン、携帯アドレスでは申込み不可)

【お問い合わせ先】

星ヶ丘医療センター 総務企画課 伊藤 博一
TEL(代表) : 072-840-2641

ALSO(Advanced Life Support of Obstetrics)とは

1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP—米国家家庭医学会)によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了した。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれている。ALSOはLDRにおける産科の救急的対処を強調しているが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者—医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれている。

重要レクチャーは妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の8つ。

少人数グループによる重要ワークショップは肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、重要な症例の5つ。オプション・ワークショップ: 会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の5つ。

プロバイダーコースを完了した際、参加者は5年間有効の認証を受けることができる。

NPO 法人周生期医療支援機構 「ALSO-Japan について」より一部抜粋

http://www.oppic.net/item.php?pn=also_japan.php

講習内容例

第1日目

妊婦ケアにおける安全性/講義
 分娩時胎児監視/講義・症例
 難産 講義
 補助経膈分娩・正常分娩介助/講義・実技
 肩甲難産/講義・実技
 産後大出血/講義・実技
 妊娠後期の性器出血/講義

第2日目

妊婦の蘇生/講義・実技
 プレゼンテーション・ポジション異常/講義・実技
 早産と前期破水/講義
 内科的合併症/講義・症例
 妊娠初期の合併症/講義
 会陰縫合/講義・実技もしくは
 分娩時の診断的超音波検査/講義・実技
 実技試験、筆記試験